

平成 30 年 5 月 31 日

金沢区長

所在地： 神奈川区西神奈川一丁目 13 番地 10

法人名： 社会福祉法人^{恩賜}財団^{財団}済生会支部神奈川県済生会

支部長： 正木義博



平成 30 年度 能見台地域ケアプラザ事業報告書等の提出について

平成 29 年度 能見台地域ケアプラザの事業報告に係る下記書類を提出します。

【施設名】

横浜市能見台地域ケアプラザ

【提出書類】

- (1) 平成 29 年度 能見台地域ケアプラザ事業報告書
- (2) 平成 29 年度 能見台地域ケアプラザ収支予算書及び報告書
- (3) 平成 29 年度 自主事業報告書・収支報告書

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

【施設名】

能見台地域ケアプラザ

1 全事業共通

地域の現状と課題について

能見台地域ケアプラザのエリアは、4 地区連合にまたがっており、広い地域となっています。各地区のケアプラザとしての機能を十分に果たすとともに、4 地区をつなぐ役割をケアプラザが担い、各地区の情報交換を促進し地域の福祉の向上を図りました。

富岡西・能見台地区では、駅前商店街、住宅地、マンション群などが混在する地域特性から、地区として全体的な動きがとりにくいという課題がありますので、自治会単位の活動へのきめの細かい支援を行っていきました。

能見台地区は、若い担い手が多く活動が活発な地域で、施設の利用も最も多い地区であるため、地区の活力を活かして引き続き地区の皆さんの自主活動を支援していきます。将来の高齢化が課題であるため、エリア内の活動の情報共有を促進して、来るべき高齢化に備えることについて支援をしました。

金沢東部地区については、地区社会福祉協議会の活動が活発であり、ケアプラザとしてはその取り組みを他の地区に伝えることにより、相互の相乗効果を期待した支援を行いました。ケアプラザへの距離が課題となっているため、アウトリーチを含めケアプラザの機能を利用しやすいよう協力しました。

金沢中部地区は、一部が能見台のエリアとなっており、地域活動に熱心な地域です。引き続き泥亀ケアプラザとともに、地域支援チームの一員として支援しました。他の地区同様に担い手の高齢化が課題となっていますが、他地区の取り組みを紹介するなど支援しました。

(1) 相談（高齢者・こども・障害者分野等の情報提供）

- 高齢者、こども、障害者の多様な相談に対応できる場として機能できるよう、毎月の管理者会議、職員会議において情報の共有を図り、ケアプラザ全体で受け止めること・関連機関に繋げ協働できる体制を整えました。
- 高齢、子育て、障害等の様々な分野における自主事業、地域の出前講座の際、ケアプラザの機能をお伝えし身近な相談窓口であることを広報したことで、更なる地域からの認知症等の講座のニーズに応え、地域課題の分析を深めることができました。
- 地域の障害者の居場所を求める相談に応えるため、ボランティアや福祉活動団体の協力を得ることで、障害者事業の当事者の受け入れ枠を増やし対応しました。
- 地域包括支援センターの看板を入口に設置するとともに、新たに外からも見えるよう窓にも表示し、地域の方に分かりやすく機能を周知するよう努めました。

(2) 各事業の連携

- 地域相談、活動団体へのヒアリング、自主事業、共催・協働事業の場面で得た情報をケアプラザ内で共有し、事業の運営に活かすために、地域活動交流部門、地域包括支援センター、生活支援体制整備事業で共有して活用している『地区支援記録』に記録を残し、各部門間の連携・共通目的を持つことにより相乗効果を図りました。
- 生活支援コーディネーターが得た保健活動推進員からのニーズに応え、指導者向けのスリーAリーダー養成講座を3回開催するなど、包括支援センター、地域活動交流と連携した取り組みを行ったところ、地域の意識向上が見られ、自主化への動きが見られました。
- 地域活動交流における高齢者支援事業には、包括3職種と連携し、地域課題解決の方向性など適切な情報を得て実施しました。
- 高齢者対象のサロンや食事会や認知症サポーター養成講座などの自主事業に生活支援コーディネーター、地域活動交流、包括支援センター3部門で対応し、それぞれの特性を生かし連携することができました。
- 音楽活動団体や音楽に興味のある方が多いという地域の特性を考え、音楽レクリエーション講座を生活支援コーディネーターと地域活動交流コーディネーターと連携し新たに企画開催しました。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- 生活支援コーディネーターは、包括支援センター・地域活動コーディネーターとともに一体的に機能し、ケアプラザ全体で連携して業務遂行に万全を尽くしました。
- 今年度大幅に改正され施行された個人情報保護法については、全員研修を行い、あらゆる機会を捉えて取り扱いを徹底しました。
- 職員育成の研修は、行政、社会福祉協議会と連携し、外部研修、内部研修を研修計画に基づいて効率的に組み合わせ、全体研修、専門研修、技術向上研修、階層別研修を実施することにより、きめ細かい人材育成を行いました。
- 研修参加者は研修報告書を必ず作成し、ケアプラザ内で共有することで、職員が得た学びを日頃の業務に活かしました。
- 公の施設としての自覚をもって、利用者に対して公正中立性を持った対応をするように、研修や所内会議の中で全職員に徹底しました。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- 地域支えあい連絡会では、地域のサロン活動をテーマに話し合いを進めました。第1回目は地域のサロンを一覧にまとめた資料を作成提供し、意見交換に活用しました。第2回目は連絡会メンバーの他、サロン支援者にも参加いただき、言語聴覚士から得た高齢者とのコミュニケーションの取り方についての情報を提供するとともに、ワールドカフェ方式で支援者同士がそれぞれのサロンの活動について情報交換しました。第3回目は年度を通した振り返りと、次年度のテーマ、地域の課題について検討しました。また第1回、3回を生活支援体制構築のために包括レベルの協議体と位置づけ、実施しました。
- 学校と施設の連絡会では富岡地域ケアプラザと共催し、関係機関の顔の見えるネットワークづくりを考え、アイスブレイクとして名刺交換タイムを作る等の工夫をしました。
- 子育て支援連絡会では、区役所、区社協、子育て支援拠点と連携協力し、金沢区子育て支援の協働の指針に基づき、各子育てサロンで活かしてもらえよう、情報提供、意見交換を進めました。

(5) 区行政との協働

- 第3期地域福祉保健計画の二年度目となり、地域に最も近い公の施設として地域支援チームの一員としての役割を担い4地区のチーム会議、地区推進連絡会に出席し、地域の課題を共有しました。
- 地域活動交流事業として、こども家庭支援課との協働にて脳科学の視点から考えた子育てのコツを学ぶ講演会を実施しました。
- 地域支えあい連絡会、子育て支援連絡会、学校と施設の連絡会等、各連絡会において常に区行政と協働にて開催しました。
- 大学生対象のボランティア講座は、区・区社協・区内全ケアプラザとの協働にて開催し、定着した学生ボランティアの育成につなげました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- 各事業において、企画段階より職員会議、サブコーディネーター会議を通じケアプラザ全体で目的・目標を明確に周知し共有しました。
 - 地域団体、登録団体と連携、共催し、事業を企画、実施しました。
 - 参加者増を図る為、積極的に事業を広報し、ほぼ全事業において定員に近い参加率を達成しました。
 - 生活支援コーディネーターや包括職員と地域に出向き、出張にて様々な事業を行った他、ボランティア団体と共に地域出張にて事業を展開しました。
- ア 高齢者支援では、毎月定例的に行われている音楽サロン、料理教室などの交流と見守り事業、音読、麻雀、パソコン教室などの認知症予防の事業、健康サポート教室による健康体操の事業を実施した他、生活支援コーディネーターや包括職員と連携し、スリーAリーダー養成講座を実施しました。また他職種と共に地域の依頼を受け、認知症サポーター養成講座を3回、出張にて実施しました。年に2回、高齢者お食事会「にぎやか亭」を開催し、その機会を活用して地域の民生委員児童委員を参加者に向け紹介しました。
- イ 子育て支援では毎月2回行っている子育て広場を滞りなく実施し、夏休みには小学生の親子を対象にモバイル切り絵教室の他、初めて科学工作教室を開催し、新たな地域活動団体と連携して事業を行いました。子育て支援拠点「とことこ」とは「静」の企画として「初めての絵本選び」を実施し、「動」の企画として3月に「リトミック体操」を開催しました。区こども家庭支援課とは、共催にて子育て講演会を1月に実施しました。また地域の民生委員児童委員協議会との離乳食講座や食生活等改善推進団体ヘルスマイトとの共催にて食育講座を実施しました。
- ウ 障害者支援では、学童期を対象とした「フリーティード」と、成人を対象とした「ハッピーポップ」を、ボランティア、保護者と連携して毎月実施しました。障害児養育者の心のケアと交流を目的とした「スマイルカフェ」は、地域のカフェの協力を得て出張で開催し、現在カフェでの開催については団体の自主活動として行うことになりました。また夏休みには区内ケアプラザと区社協と共催で、「サマーフレンド」を2回実施しました。9ケアプラザの特色を生かした開催となり参加者アンケートでも良好な回答をいただきました。
- エ 世代間交流事業では「手打ちそば教室」「囲碁サロン」を実施し、多世代の方にご参加いただきました。地区センターとの協働事業の「合同祭」では、ボランティア団体や地域の皆様が来館し、「合同防災訓練」は、水消火器やAEDを使った訓練を来館者の皆様と一緒に実施しました。登録団体からの依頼を受け、地域の多世代の皆様楽しんでいただける音楽コンサートも数回共催で開催しました。3月には地域の皆様に向けた「医療講座」を実施しました。
- オ ボランティア関連事業では、食品衛生講習会、安全運転講習会、ボランティア連絡会を開催し、日々の活動に役立つ情報を提供した他、相互の交流ができるようにしました。

その他、音楽、手芸、工作等のボランティア団体には、ケアプラザの高齢者支援、障害者支援など、それぞれの活動に合った事業での協力を依頼し、活躍の場を広げました。また区社協、区内ケアプラザと共に区内の大学に出向き、ボランティア養成講座を実施し、定期的に事業に参加してくれる新たな学生ボランティアを育成しました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- 貸し室の空き状況がわかるよう、エントランスに空室状況を掲示しています。また様々な事業や連絡会においても地域団体が部屋を使える旨を告知しています。
- ホームページでは各部屋の写真と利用可能人数を表示し、福祉保健活動団体、地域団体が貸し室を利用できる旨を表記するとともに、今年度より各部屋の空室状況をホームページで確認できるようにし、利用促進に努めました。
- 地区民児協、保健活動推進員会、金沢区子育て支援拠点、および登録団体との共催事業を進んで企画し、地域との協働を推進しました。登録団体には活動のモチベーションがあがるよう活動支援をしました。
- 職員が、部屋の換気や机、床の清掃を進んで行き、利用団体の意識を高めると共に、利用しやすい環境を整えました。
- 昨年度、夜間の多目的ホール利用率の10%増加(36%→47%)に成功し、本年度も引き続き若い団体に夜間利用を進め、現在も夜間としては高い44%の利用率を維持しています。
- 利用者アンケートのご意見を活かし、靴箱の整理整頓をしました。これにより靴の間違い、混乱が減りました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- 新たな若い担い手の育成のため、区社協、区内ケアプラザ、大学と共催でボランティア養成講座を出張にて開催しました。また、障がい児余暇支援事業であるサマーフレンドに参加するボランティアの育成にも協力し、それぞれ振り返りの会も開催し、ボランティア活動の大切さ、重要性を啓発しました。
- 新たに育成した学生ボランティアが継続して活動を続けられるよう、積極的に様々な事業を紹介し定着させました。
- 包括支援センター看護師、生活支援コーディネーターと連携し、地域の担い手となる方を対象にスリーA講座を3回コースにて実施しました。
- 支えあい連絡会において地域のサロン開催者を集め、情報交換し、それぞれのサロンの活動内容の充実を図れるよう促し、また区社協のボランティアセンターの紹介も行いました。
- ケアプラザを利用している配食、会食ボランティア団体、調理をしている障害者自助活動団体を対象に、食品衛生講習会、安全運転講習会を開催し、日々の活動に役立てました。その他、音楽ボランティア団体、手芸や工作のボランティア団体などは、ケアプラザの高齢者支援、障害者支援などのそれぞれの活動に合った事業での協力を依頼し、活躍の場を広げました。またケアプラザ内の掲示スペースにボランティア団体の紹介スペースをつくり、相互の活動の情報を共有できるようにし、2月に実施したボランティア連絡会においては、各団体が交流できるよう、グループトークの時間を設けました。
- 地域のグループホーム、自治組織のサロン、商業施設からのボランティア派遣要請に、ケアプラザを利用しているボランティア団体を紹介しました。ご希望の団体が見つからないときは、区社協のボランティアセンターの協力を得ました。確実に紹介することで、信頼を得て相談件数も増えました。訪問するボランティア団体にとっては地域の高齢者理解に繋がりました。
- 子育て支援の事業では、金沢区子育て支援拠点と協力し、横浜子育てパートナーの紹介をしました。
- 障害児・者支援のボランティア活動団体には、当ケアプラザ以外での活動の紹介も

リーフレットに載せることで、幅広く活躍できるよう支援しました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- 地域支えあい連絡会（協議体）、子育て支援連絡会、ボランティア交流会、学校と施設の連絡会を実施し、地域状況の情報収集及び行政、社協、ケアプラザからの情報提供をしました。
- 区、区社協、近隣施設からの配架物や掲示物は、分類ごとに分け見やすいように工夫し配架、掲示しました。また、各事業にて積極的に参加者に配布しました。
- 利用者アンケートで得たご意見を活かし、緊急避難経路を日々の利用者へ案内すると共に、広報紙でも発信しました。
- 区・区所協・地域から得た情報を、地域包括支援センター、生活支援コーディネーターと共有している「地域支援記録」のツールを使い、ケアプラザ内での情報提供に活かしました。
- 事業チラシ、広報紙、ホームページ、SNS等、幅広い世代に合った方法で情報を発信しました。広報紙の内容及び空室状況は、HPからも確認できる様にしました。またトイレの個室にチラシを掲示している事は利用者から好評いただきました。
- 区の広報紙、横浜市イベントお届け便などの媒体も利用し、情報提供に努めました。
- 近隣施設、商業施設とも連携をとり、情報の発信収集の協力体制を築きました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- 地域住民の声を聞き取る中で、地域のサロンの継続や立ち上げを課題と捉えていることを感じました。そこで、第1回地域支えあい連絡会（協議体）において、地域より収集したサロン等の集いの場について提示し、各地域の状況について情報を出し合いました。その中で、サロン担い手の負担、活動の在り方についてなどの不安が挙げられました。また、個別地域ケア会議でも住民の見守りのため、地域サロンを支援する必要性を再確認しました。
これらのことから、サロン支援者研修会として、横浜市地域リハビリテーション活動支援事業を活用し、言語聴覚士による講演会を開催しました。また、サロン支援者同士の横のつながりを持つ機会として、地域支えあい連絡会の第2回は、第1回メンバーに地域の20団体の代表にも加わっていただき、支援者交流会として開催しました。各活動の良いところ、これからの展望などをテーマに、気軽に多くの方と意見交換を行い、つながりづくりの場とすることができました。
- 月1回定例の生活支援コーディネーター連絡会、その他諸会議への出席を通じて、区役所、区社協、他ケアプラザとの情報共有を図りました。今後も区役所・区社協と連携を図りながら、エリアの参加者からの声を拾い、事業のフォローをしていきます。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- 地域包括支援センター・地域活動交流とともに自治会・町内会、民児協や地区社協との連携を図り、各地区の生活課題やニーズの把握に努めました。サロン・体操教室など、地域住民が集う場に足を運び、情報提供やキーパーソンとの連携強化、地域の声を随時拾えるよう努めました。
ケアプラザに行って相談するほどのことでもないと踏みとどまっていた困りごとを伺い、必要に応じて地域包括支援センターにつなぎました。
- ア ケアプラザまで足を運ぶのが難しいという声があり、町内会館を用いた出前講座をシニアクラブと連携し実施しました。
- イ 地域のシニアが集う趣味活動の会に対し、活動を披露し活躍いただけるよう働きかけました。その中でボランティア登録を希望された団体は地域活動交流につな

ぎ、デイサービスでボランティアとして披露していただきました。

ウ 能見台地区では自由に立ち寄れる居場所がないと地域の声が聞かれ、地区で実施したアンケートからも同様に必要との結果が得られました。合わせて、昨年度実施したスリーA講座後に関心を示された保健活動推進員に対し、地域包括支援センター・地域活動交流とともに今年度もフォローアップ講座を開催し、スリーAリーダーとして活動につなげられるよう支援しました。11月に他地区シニアクラブ、1月には自地区のリーダーを担っていただきました。今後も居場所づくりにつながるよう支援していきます。

エ 地域支えあい連絡会でも挙げられた、サロン内容のマンネリ化・講師調整の負担の声に対し、エリア内の講師による音楽レクリエーション講座を実施しました。

●地区社協や自治会等の住民主体の地域活動、民間業者が実施している生活支援サービス等の情報収集に努め、地域資源リストをまとめました。地域包括支援センターから圏域内のケアマネジャーに必要な応じて地域情報を提供できるようつなぎました。今後も相談業務やケアマネジメント等に活用できるよう、更新していきます。

●「さくら茶屋にししば」より介護予防・生活支援サービス補助事業申請の相談があり、区・区社協と連携を図りながら支援しました。10月より補助対象として『げんきライフさくら茶屋』が週1回でスタートし、包括支援センター職員とともに月1～2回は参加し、経過を追いながら支援しました。スタッフの話し合いに適宜参加・後方支援し、担い手支援となるようケアプラザ事業の案内も行いました。今後も制度の理解を深めながら、適宜情報提供していきます。

(3) 連携・協議の場

●金沢東部地区社協執行委員会、同地区第3期地域福祉保健計画第5分科会に定期出席し、地域で抱える課題等の共有、情報交換等を行いました。能見台6丁目町内会では、高齢者の健康寿命を延ばす取り組みについて協議する場に参加し、コグニサイズ講座を開催し、定期教室立ち上げの準備を行いました。

●地域支えあい連絡会・生活支援体制整備協議体を通じて、サロンの情報交換・支援者同士の交流を図り、活動の継続・発展に向けた働きかけを行いました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

●生活支援コーディネーター連絡会等を通じて、区役所、区社協、他ケアプラザと事業推進のための情報共有を図りました。各種研修にも積極的に参加し、地域課題の把握や課題解決の手法について学び、話し合いの場に活かすよう努めました。

●地域支えあい連絡会では、町内会館などの集いの場の立地条件と、高齢参加者の身体状況から課題となる移動手段の話題が挙がり、横浜市地域交通サポート事業について情報提供し、循環バス運行に至った片吹地区からも話を伺いながら関係者で共通認識を持つ機会となりました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

●地域包括ケアシステムの構築を目指し、個別地域ケア会議等で抽出した課題をケアプラザエリアの課題として捉え、支え合いネットワークにおいて地域の方と共有し、具体的な活動につなげました。また、地域の団体情報をシートにまとめ、リストを作成し、必要時にケアマネジャーや地域の方と共有を図りました。

●エリアの大型ストア、銀行、郵便局、病院、支援事業者などに出向き、地域包括支援センターの役割を周知すると共に、地域の高齢者を共に支援する関係を築きました。特に今年度は、イトーヨーカドー能見台店で認知症サポーター養成講座を開催

することで、共に顔の見える関係を作り、支援に役立つ関係を築くことができました。

- ケアプラザで開催している高齢者サロン（あおぞらサロン）に、グループホームや小規模多機能施設のご利用者が参加できる仕組みを作り、住み慣れた地域の活動や行事に参加できるようネットワークを構築しました。

② 実態把握

- 民児協や地域のサロン、体操教室、町内会、自治会等に出向き、地区別のニーズを把握し、集団、個別相談につなげることができました。今年度は、金沢東部地区の望洋台町内会から終活セミナーの要望をいただき、開催につなげることができました。個別相談では、生活支援コーディネーターが各集まりに参加したことで、包括へつながる機会が増えました。
- 地域支え合い連絡会を通して、地域交流部門・生活支援コーディネーターと連携し、地区別の生活課題を把握し、地域のサロン継続に関する意見交換ができました。また、高齢者支援に必要な知識として、言語聴覚士から高齢者の特徴を学ぶ研修の機会を設け、支援者のスキルアップにつなげました。
- 医療機関・福祉関係事業所に出向き、相談者の生活課題を共有し、常に相談できる体制を築きました。新しくできた医療機関にも直接訪問相談し、連携を図りました。
- 各地区が行なう住民アンケートや聞き取りの結果を共有し、エリアの実態を把握しました。アンケートの結果を踏まえ、望洋台町内会では、健康や終活についての、出張講演会を開催することができました。

③ 総合相談支援

- 日頃より、エリアの大型ストア・銀行・郵便局・新聞配達所・病院・支援事業者、地域の士業関係者などと共に支える関係を築くことで、各機関が直接気軽に相談できる体制を作りました。
- 介護保険サービスのみならず、インフォーマルサービスや見守り支援、自主事業など、様々な社会資源を柔軟に活用し、継続的な支援を実施しました。また、相談の中では、介護保険を利用する前に近くで気軽に参加できる体操教室への参加希望が多いことが分かりました。既存の体操教室へは生活支援コーディネーターと包括支援センターで後方支援を、体操教室がない地域には新たに立ち上げる支援を行いました。（能見台スリーAサロン、能見台6丁目コグニサイズ）
- 地域のイベントやサロン、体操教室等に出向き、分かりやすい資料（オレンジガイド）や包括支援センター写真入りチラシを活用しながら、包括支援センターの機能について広く普及することができました。

（2）権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- 成年後見制度・遺言・相続についての個別相談会を年4回、専門職（行政書士、司法書士）を招いて開催し、気軽に相談できる場を作りました。また、こうした日頃の連携を活かし、随時必要に応じて法律の専門職につなぐことができました。
- 日頃より、銀行・郵便局・警察と連携することで、詐欺に遭いそうな方の情報提供を受け、ご本人の希望で任意後見契約につなげるなど、消費者被害の防止を始めとした制度の利用促進に努めました。
- 地域に出向き、金沢警察、消費生活センターなどの最新の情報をお伝えすることで、消費者被害の防止に努めました。
- 後見制度にも関わりの深いエンディングノートを活用し、シリーズ講演会を開催しました。元気なうちに高齢期における本人・家族の心構えについて考える機会を設けることができ、介護予防や認知症予防など関連事業への関心にもつなげることが

できました。(11月7日「エンディングノートのススメ」、11月14日「どうする？私と家族の介護・葬儀・お墓」、11月21日「老後のお金対策」)

② 高齢者虐待への対応

- 介護をしている方の情報交換の場として介護者の集いを開催し、偶数月におしゃべりの会、奇数月に各種セミナーを行うことで、介護者の不安を取り除き、孤立を防ぎました。(5月「予防歯科セミナー」、7月「物と心の整理」、9月「尿漏れ予防とヘルスケア」、1月「高齢期に知っておきたい法律知識」、3月「住まいと施設の講演会」)
- 地域住民向けに、虐待防止普及啓発として弁護士による講演会を行いました。虐待だけでなく、生活に関わる法律知識を身につけることで、日頃から安心して介護や日常生活を送れるよう情報提供することができました。
- 地域包括支援センターが虐待相談窓口であることを、講演会を通して関係機関や地域住民に広く周知を図りました。また、相談時には通報者の不安を取り除き、迅速に関係機関との連携を行い対応しました。

③ 認知症

- キャラバンメイトと協働で、認知症サポーター養成講座を地域向けに3回(能見台4丁目いこい会、能見台6丁目町内会、金沢東部地区シニアクラブ連合)、イトーヨーカドー職員対象に2回実施しました。(計5回)
キャラバンメイトからは、認知症介護を通じて学んだこと、地域で生活している中で助けられたこと、サポーターに望むことなどを講話していただく機会を作りました。
- 認知症予防として、エビデンスのあるコグニサイズやスリーAを取り入れた介護予防事業や、ボランティアを対象とした人材育成講座を開催しました。コグニサイズは、ケアプラザで2回、片吹自治会館、谷津坂会館、能見台6丁目自治会館での出前講座を計4回実施しました。能見台6丁目では月1回の自主化を目指し、講師調整や関係者への後方支援を行いました。
- 認知症に関する相談には、医療や介護などの情報提供を行い、多角的で継続的なサポートを行いました。
- 認知症家族介護者が互いに情報共有し、専門職による相談支援が継続して受けられる場として、介護者の会を月1回開催しました。(隔月で介護、健康に関するセミナー、隔月でおしゃべりの会)
- エリア内のさくら茶屋にししばが主催する認知症カフェへの後方支援として、月1回のさくらカフェオレンジデーには専門職として区の保健師、生活支援コーディネーターと協働で参加し、当事者、家族、ボランティアへの支援を行いました。
- オレンジチーム(認知症初期集中支援チーム)を積極的に活用することで、これまで介入が難しいとされるような事例においても、早期に多職種で検討することができるようになり、支援の質の向上につながりました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ケアプラザ・包括支援センターの役割・周知のために、地域住民を対象とした出張講演会・相談会等、情報提供を行い、地域住民の意識向上に努めました。また、様々な講演会を開催し、地域住民が今後の在宅生活をイメージできるように努めました。
- 4地区民児協に参加し、随時情報提供を行い、連携が取りやすい関係を構築しました。民生委員からの情報・相談が増加しており、ケアマネジャーと連携する機会も増えています。特に認知症支援に関しては民生委員・自治会サロンとの連携が効果を上げました。

- 地域と福祉専門職の共通課題である認知症について、「認知症の早期発見・早期治療」（講師：樹診療所 S W）をテーマに、民生委員・地域ボランティア団体と福祉専門職の共同勉強会を行いました。あわせて、連携が継続・発展できるよう、情報交換会を開催することで、地域の特性や役割を理解することにつながりました。
- エリア内グループホーム・小規模多機能型施設と地域自治会等が相互理解を図り、地域間の交流がとりやすいよう支援を継続したところ、地域事業への参加が積極的に行われるようになりました。地域の認知症理解も深まっています。上記施設には2ヶ月に1回の運営推進会議に参加し、地域の情報提供や施設側からの相談対応及び、増えつつある看取りに伴うディグニティ（尊厳）ケア等の提案や相談員の支援を行いました。
- 「地域で生活する視点」を大切にするために様々な地域の情報の収集・整理を行い、ケアマネジャーに情報提供・活用支援を行いました。ケアマネジャーからの問い合わせも増え、自立支援を促すプランが見られるようになりました。

② 医療・介護の連携推進支援

- 区内包括共催で、区内・近隣の総合病院の M S W との連絡会を開催し、相談者・ケアマネジャーへの支援が円滑に行う事のできる体制を継続・発展させました。また、日頃から業務内容の相互理解や制度に関する情報交換を行い、様々なケースへの支援が円滑・効果的に行われています。
- 地域の開業医・薬局に順次訪問、提案や相談を把握し、連携しやすい基盤を作りました。ケアマネジャーに繋げるケースが増えています。
- 金沢区薬剤師会との連携の為に、「薬剤師会とケアマネジャーの情報交換会」を区内包括主任ケアマネジャー部会共催で開催しました。多職種間における課題の抽出・ルール作りについて検討を重ねています。連携ツールは、北部ブロックエリア用に次年度のネットワーク会議にて作成予定です。
- 北部ブロックの開業医・相談員・薬局・訪問看護師とケアマネジャー（居宅・グループホーム・小規模多機能）・包括の「北部医療ネットワーク」会議を開催しました。今年度は、ターミナルケアにおける課題について2回に渡り検討、今後増えるであろう在宅でのがん治療を中心に、現状における問題・課題について意見交換を行いました。医療面やサービス面のみならず、本人の最後の生活（精神面）を支える視点を全職種が持つことができました。

※北部ブロック：並木・富岡東・富岡・能見台地域ケアプラザ担当エリアをさします

③ ケアマネジャー支援

- 区内地域包括支援センター主任ケアマネジャーの共催でケアマネジャーの勉強会を開催しました。
- ア 新任ケアマネジャー研修は、ケアマネジャーとして必要な制度・知識を中心に3回開催しました。
- イ 主任ケアマネジャー研修は、スーパーバイズを中心に区内居宅介護支援事業所の主任ケアマネジャーを対象に開催しました。スーパーバイズは、困難であり実際の事例検討会で機能していないとの意見が多く、引き続き研修を継続します。
- ウ 北部ブロック包括主任ケアマネジャー共催で、事例検討会を2回開催しました。I C F (国際生活機能分類)理論に基づく自立支援型プランを多人数で検討する事により、様々な視点を持つことができました。本検討会は、ファシリテーターを居宅介護支援事業所の主任ケアマネジャーが行う事により、主任ケアマネジャー更新研修の受講資格を得られるよう支援しています。
- 区内事業所の主任ケアマネジャーの支援・質の向上、事業所を越えた連携を目指し、「主任ケアマネジャーネットワーク」にてネットワーク会議を開催しました。法改正に伴う情報交換や日頃の業務の不安、よりよい指導を検討する事により、次年度から開始される事業所共催の事例検討会につなぐ良い機会となりました。
- 北部ブロック主任ケアマネジャーの共催で、ケアマネジャーのフリーな相談場所と

して「ケアマネカフェ」を2回開催しました。タイムリーな資料や情報を提供することにより、事業所を越えてケアマネ同士が話し合える機会となりました。

- 主任ケアマネジャー部会・保健師部会の共催で、総合事業・介護予防に関する研修を実施し、自立支援のためのケアマネジメント力を高めるよう努めました。
- ケアマネジャーのケアマネジメントの実践力を高める為、個別地域ケア会議を3回開催しました。テーマは①認知症ケース②8050 ケース(80代の親と50代の子)③障害者ケースとしました。医療関係の視点に関しては、ケース該当薬局や医療連携室・理学療法士に参加を依頼し、会議後の支援・評価も継続して行っています。
- 個別相談・ケアプランの立て方に関しては随時対応しました。ケアプランに関しては地域で生活していく視点を大切に、インフォーマルサービスの位置づけ・案内を行いました。
- 新任ケアマネジャーの新規契約・担当者会議に同行しました。
- 処遇困難ケースに関しては、専門機関と連携が取れるよう、ケアマネジャー及び事業所と協働しました。特に虐待のおそれがあるケースに関しては、緊急対応が必要なケースとしてカンファレンスを開催し、担当事業所が具体的な対応が行えるよう支援しました。
- 北部ブロックを中心とした居宅介護支援事業所を訪問し、随時情報提供・研修案内・相談を受け付けました。様々な課題は、各ネットワーク会議にて検討しました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- エリア内の開業医、薬局、交番、銀行、郵便局、コンビニ、新聞配達所、スーパーに出向き、気になる高齢者について情報提供いただけるよう、包括の案内と機能について周知しました。薬局には利用しやすいよう包括のリーフレット(パウチ状)を配布しました。
- 個別地域ケア会議には、生活支援コーディネーター、区社協、区役所等、関連する様々な専門職種に参加依頼を行うと同時に、ケア会議の周知に努めました。医療関係の視点に関しては、ケース該当薬局や医療連携室・理学療法士の参加を依頼し、会議後の支援・評価も継続して行っています。
- 個別地域ケア会議から抽出した課題を、該当するネットワーク会議にて検討し、解決に努めました。

(5) 介護予防ケアマネジメント(指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)

介護予防ケアマネジメント(指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)

- 高齢者一人ひとりのできる力に着目し、実現可能で目標志向型のケアプランを作成しました。介護保険制度の改正を踏まえ、日常生活支援総合事業へスムーズに移行されるよう、情報提供を行いました。また、利用者が日常生活圏域で利用できる様々な社会資源についても情報提供し、インフォーマルサービスを充実させたケアプランを提案しました。
- 委託先のケアマネジャーと連携し、適切なケアマネジメントができるよう、地域の社会資源について具体的な資料を配布するなど積極的に情報提供し、個々のケアプランに反映できるよう助言しました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- 高齢者の健康づくり、社会参加の場として、月3回の体操教室を開催しました。参加者のその日の人数や個々の体調や体力などを鑑みてプログラム構成を変えるなど、講師と相談しながら調整しました。認知症予防に効果のあるコグニサイズも実施し、個人差があっても周囲を気にせず楽しく取り組めるよう、個別や集団への声かけをしながら支援しました。また、冒頭の挨拶の後で、包括看護職によるミニ講話や保健指導を実施しました。(上半期は熱中症予防、下半期はインフルエンザ、ノロウィルスの注意喚起など)
- 地域のサロン、体操教室に順次出向き、地域で自主化した体操教室やコミュニティの担い手の後方支援や、参加者への保健指導を行いました。
- 各町内会、自治会のキーパーソンと連携し、地域の課題に合わせた介護予防事業の開催や、地域の食事会やサロンでの介護予防講話などを積極的に実施しました。

その他

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

竣工から17年が経過し、施設全般の老朽化が進みました。専門家による12条点検において、さまざまな修理必要箇所が指摘されています。修繕・補修にあたっては事前に区と協議し、優先順位の高いものから順次実行しました。

地区センターとの共用部分についても、地区センターと協力して、優先順位の高いものから計画的に修繕・補修を行い、施設の安全管理、長寿命化を図りました。主な対応として、29年度は屋上他鉄部塗装工事及び外壁クラック等修繕工事を実施しました。

イ 効率的な運営への取組について

済生会コンプライアンスに基づいて、社会福祉法人として高い倫理性をもって効率的運営を図りました。特に済生会の強みである組織のスケールメリットを生かして、施設間相互の情報の共有化、共同購入や共同リース契約などの検討を行いました。また、法人内に同種の施設が複数あることから、定期的な会議や研修会において、各施設間の情報交換・意見交換を行い、さらなる効率化へ向けての検討を行いました。

ウ 苦情受付体制について

苦情処理体制として、所長が苦情解決責任者、各部門管理者責任者が苦情受付担当者となっています。

苦情の解決に至らない場合は、法人委嘱の苦情解決のための第三者委員に報告し、助言をいただくなど、迅速かつ適正な苦情解決に取り組む体制を整えています。また苦情等の情報を朝礼や所内会議において共有し、利用者の立場に立った運営を行いました。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

地区センターと共同して、合同防災訓練を年2回実施しました。29年度は、通常の避難誘導訓練に加えて消防指令センターへの通報訓練やAEDの取り扱い訓練を行い、実地に即したより効果のある訓練を実施しました。

なお、防犯カメラ4台を有効に活用して防犯対策を実施しました。

オ 事故防止への取組について

過去の個人情報漏えい事故を教訓に、マニュアルの見直しを行うとともに、職員研修をさらに充実させて事故防止を徹底しました。

事故防止マニュアルにより、介護事故、送迎事故、感染症事故、情報漏えい事故などを防止する体制を取って対処しました。また、朝礼で事故防止を常時喚起し、日常的に事故防止の意識向上を図るとともに、さまざまな会議でヒヤリハット事例を題材とした事故防止策を講じました。

なお、リスクマネジメント研修に参加するなど外部研修の情報も収集し、職員間で共有しました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

個人情報保護については、個人情報保護規定により、所長が統括責任者、各部門管理者責任者が委員となり、毎月コンプライアンス委員会の中で検討する体制を取っています。その中で事例検討などを行い、全部門が適正な取扱いを徹底しました。

6月の全員研修において職員一人一人に徹底するとともに、人権尊重が個人情報保護の基礎にあることから、併せて人権研修を行い理解の深度を高めました。また、朝礼、諸会議で常に注意喚起を行いました。

なお、済生会本部や支部の主催するコンプライアンス研修に参加し、組織全体で個人情報保護を含め、人権尊重、事故防止、法令遵守の組織風土を構築しました。

特に29年度は利用者の個人情報が記載されている書類を一時紛失した事故が生じているだけに、改めて取り扱っている個人情報の重要性への注意喚起、事務室内の整理整頓、不要な書類の廃棄を進め、セキュリティ対策の強化を図りました。

キ 情報公開への取組について

能見台地域ケアプラザのホームページなどにおいて、情報を公開しました。

また、情報ラウンジでの開架で、ケアプラザの事業および責任者の氏名を掲示するとともに、苦情解決のための責任者、受付担当者氏名を掲示しています。さらに苦情解決のための第三者委員の制度について資料を開架し周知しています。

その他、法人の理事会議事録、区への事業実績報告・事業実績評価、第三者評価などの資料を開架しました。

ク 人権啓発への取組について

全職員を対象とした全員研修において横浜市人権啓発基本計画等をテキストとして使用し、人権に根ざして職務を執行することを徹底しました。

窓口対応時だけでなく、ケアプラザのあらゆる活動において、職員が人権を遵守するとともに、地域住民に対しても人権尊重について啓発をしました。

ケ 環境等への配慮及び取組について

公共施設として良好な環境を維持するため、職員による毎日の清掃のほか、委託による毎月1回の定期清掃を実施しました。トイレ・廊下は、委託により毎日清掃を行いました。

外周や植栽の維持についても、職員による毎日の清掃に加えて、委託により年3回の剪定や除草を行いました。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

管理者兼看護師（常勤）	1人
社会福祉士（常勤）	2人
主任ケアマネジャー（常勤）	1人
ケアマネジャー（非常勤）	1人（介護予防プランナー）

《目標に対する成果等》

- ・高齢者が住み慣れた地域でできる限り自分らしく過ごせるように、個別、集団への保健指導を行い、介護予防の普及強化に努めました。
- ・高齢者一人ひとりのできる力に着目し、実現可能で目標指向型のケアプランを作成しました。利用者はそれぞれの望む暮らしを手に入れるため、今できること、やりたいことは何かを考え、主体的に介護予防に取り組むようになってきました。
- ・利用者が日常生活圏域で利用できる様々な社会資源について情報提供し、インフォーマルサービスを充実させたケアプランを提案しました。利用者やケアマネジャーが、地域の社会資源を知ることで、地域とより顔の見える関係が築けるようになりました。

《実費負担》

なし

《その他》

- ・インフォーマルサービスとして、包括自主事業の体操教室（うきうきクラブ）を月3回開催しました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
228	244	260	260	274	273
10月	11月	12月	1月	2月	3月
280	288	287	287	274	276

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者兼主任ケアマネジャー（常勤） 1人
 主任ケアマネジャー（常勤） 1人
 ケアマネジャー（常勤1、非常勤2） 3人

《目標に対する成果等》

- ・利用者が住み慣れた場所で、自分らしく自立した生活、質の高い暮らしが出来る様に支援しました。
- ・利用者本意のサービスが提供出来る様、公正中立を守り、保健、医療、福祉の諸サービスを組合せ、担当者会議を開催し、サービスの質の向上と利用者の意向が十分に反映されたプラン作りを心掛けました。
- ・利用者へのアンケートの結果を踏まえて、住まいに関すること、身元保証などについて情報提供をしました。

《実費負担》

なし

《その他》

- ・介護支援専門員を育成するため、さまざまな研修に参加し、質の向上に努めました。
- ・利用者を取り巻く関連情報を提供することで、今後の生活支援につなげました。
- ・利用者、家族に寄り添う支援を心掛けました。
- ・認知症の方も安心して暮らせるよう、地域に働きかけました。
- ・緊急時24時間対応に努めました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
142	138	141	134	126	125
10月	11月	12月	1月	2月	3月
131	138	148	133	135	132

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 入浴
- 送迎
- 食事

《実費負担》（1日あたり）

	1割負担分	2割負担	
(要介護1)	703円	1,406円	
(要介護2)	831円	1,662円	
(要介護3)	963円	1,925円	
(要介護4)	1,095円	2,189円	
(要介護5)	1,226円	2,453円	
●入浴		1割負担 54円/回	2割負担 107円/回
●サービス提供体制強化加算(Ⅱ)		1割負担 6円/回	2割負担 13円/回
●介護職員処遇改善加算(Ⅱ)		月額総単位の4.3%	
●食費負担	750円		

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:30 ~ 16:35

《職員体制》

・生活相談員(常勤)	3名	・介護福祉士	14名
・介護職(非常勤)	21名	・看護職	7名
・調理員	5名	・ドライバー	8名

勤務体制はシフト制とします。

《目標に対する成果等》

利用者の意欲・能力を維持・向上させ、その人らしく生活していけることを支援するようにサービスを提供する事を目標にしました。成果としては、外出されなかった方が定期的に外出し、笑顔が多く見られる様になり、家族の介護負担も軽減し、感謝の言葉を多くいただきました。

《その他》

- ・利用者の生きがい、楽しみとなる趣味活動、レクリエーションや職員が趣向を凝らしたクリスマス・夏祭りなどの行事を提供しました。
- ・理学療法士、栄養士の資格を有する職員による、健康維持や身近で役立つテーマについての講話を定期的に開催しました。

《利用者実績(延べ人数)》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
716	771	741	761	762	693
10月	11月	12月	1月	2月	3月
698	688	630	578	553	685

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 入浴、送迎、食事

《実費負担》（1ヶ月）

●	1割負担分	2割負担分	サービス提供体制強化加算
(要支援1) 週1回利用	1,766円	3,531円	Ⅱ-1 24円/回
(要支援2) 週1回利用	1,766円	3,531円	Ⅱ-1 24円/回
週2回利用	3,620円	7,240円	Ⅱ-2 48円/回
●介護職員処遇改善加算(Ⅱ)		月額総単位の4.3%	
●食費負担	750円		

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:30 ~ 16:35

《職員体制》

・生活相談員(常勤)	3名	・介護福祉士	14名
・介護職(非常勤)	21名	・看護職	7名
・調理員	5名	・ドライバー	8名

勤務体制はシフト制とします。

《目標に対する成果等》

利用者の意欲・能力を維持・向上させ、その人らしく生活していけることを支援するようにサービスを提供する事を目標にしました。成果としては外出されなかった方が定期的に外出し、笑顔が多く見られる様になり、家族の介護負担も軽減し、感謝の言葉を多くいただきました。

《その他》

- ・利用者の生きがい、楽しみとなる趣味活動、レクリエーションや職員が趣向を凝らしたクリスマス・夏祭りなどの行事を提供しました。
- ・理学療法士、栄養士の資格を有する職員による、健康維持や身近で役立つテーマについての講話を定期的に開催しました。

《利用者実績(契約者数)》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
25	24	25	23	23	23
10月	11月	12月	1月	2月	3月
24	25	27	25	26	25

平成29年度「横浜市能見台地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(概数、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	13,476,000	433,805	13,909,805	13,909,805	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	200,150	△ 200,150	
自主事業収入			0	0	0	※収入が0円
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0	0	0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	3,990,000		3,990,000	3,990,000	0	
その他(運営時控除 法人負担分)	998,400		998,400	998,400	0	
収入合計	18,464,400	433,805	18,898,205	19,098,355	△ 200,150	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,305,000	0	10,305,000	10,038,263	266,737	
本俸	7,506,000		7,506,000	7,336,367	169,633	
社会保険料	708,000		708,000	759,435	△ 51,435	
手当計	1,800,000		1,800,000	1,680,996	119,004	
健康診断費	20,000		20,000	6,825	13,175	
勤労者福祉共済川金	0		0	0	0	※収入が0円
退職給付引当金繰入額	151,000		151,000	96,192	54,808	
その他	120,000		120,000	158,468	△ 38,468	共済掛金
事務費	841,000	0	841,000	930,840	△ 89,840	
旅費	10,000		10,000	13,500	△ 3,500	
消耗品費	150,000		150,000	218,184	△ 68,184	
会議旅費	16,000		16,000	19,046	△ 3,046	
印刷製本費	150,000		150,000	129,556	20,444	
通信費	150,000		150,000	116,571	33,429	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	80,000		80,000	240,180	△ 160,180	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	30,000		30,000	20,000	10,000	
盗難等併修費	10,000		10,000	0	10,000	
振込手数料	35,000		35,000	75,942	△ 40,942	
リース料	210,000		210,000	59,545	150,455	
手数料	0		0	22,000	△ 22,000	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	0		0	16,316	△ 16,316	
事業費	432,000	0	432,000	290,743	109,937	
運営協議会経費	42,000		42,000	10,680	31,320	事業 指定費
指定管理料充当 事業	390,000		390,000	280,063	109,937	
管理費	6,234,771	433,805	6,234,771	6,730,758	383,067	事業 指定費
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	
光熱水費	3,600,000	0	3,600,000	3,218,020	381,980	
電気料金			0	0	0	この列は入力しない
ガス料金			0	0	0	
水道料金			0	0	0	
清掃費	800,000		800,000	698,960	101,040	
保潔費	474,000	433,805	907,805	907,805	0	事業 指定費
機材整備費	130,000		130,000	123,845	6,155	
設備保全費	828,000	0	828,000	575,501	252,499	
空調衛生設備保守	376,000		376,000	303,694	72,306	
消防設備保守	50,000		50,000	38,989	11,011	
電気設備保守	32,000		32,000	25,977	6,023	
害虫駆除清掃保守	30,000		30,000	23,050	6,950	
駐車場設備保全費	90,000		90,000	47,767	42,233	
その他保全費	250,000		250,000	136,024	113,976	昇降機、自動ドア、設備総合点検点検
共益費	0		0	0	0	
その他	230,000		230,000	206,627	23,373	植栽管理、ルート回収委託費
雑費計	824,400	0	824,400	803,062	21,338	
事業所税			0	0	0	※収入が0円
消費税	824,400		824,400	803,062	21,338	※収入が0円
印紙税			0	0	0	※収入が0円
その他()			0	0	0	※収入が0円
事業経費(計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	※収入が0円
本部分			0	0	0	※収入が0円
当該施設分			0	0	0	※収入が0円
二一対応費			0	0	0	※収入が0円
支出合計	18,637,171	433,805	18,637,171	17,793,686	691,219	
差引	△ 172,771	0	△ 172,771	1,304,669	△ 891,360	

自主事業費収入	390,000		390,000	0	390,000	事業 指定管理料相当
自主事業費支出	390,000		390,000	280,063	109,937	
自主事業収支	0	0	0	△ 280,063	280,063	※自主事業(指定管理料相当)の自主事業費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料積入金等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	47,767	△ 47,767	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	△ 47,767	47,767	

平成29年度「横浜市能見台地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)<包括・介護予防・生活支援体制整備>

収入の部							(税込、単位：円)
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明	
指定管理料(包括)	28,563,000	△ 126,000	28,437,000	28,437,000	0	横浜市より	
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より	
指定管理料(生活支援)	5,789,000	△ 1,289,425	4,499,575	4,499,575	0	横浜市より	
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない	
指定管理料充当事業(包括)	0		0	258,000	△ 258,000		
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0		
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	0	0		
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない	
雑入	0	0	0	0	0		
印刷代	0		0	0	0		
自動販売機手数料	0		0	0	0		
駐車場利用料金収入	0		0	0	0		
その他(指定管理充当分)	0		0	0	0		
その他(選挙時控除 法人負担分)	0		0	0	0		
収入合計	34,803,000	△ 1,415,425	33,387,575	33,348,575	△ 258,000		
支出の部							
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明	
人件費	30,610,000		310,000	28,338,846	2,271,154		
本俸	20,100,000		100,000	16,914,582	3,185,418		
社会保険料	3,355,000		355,000	3,436,892	△ 81,892		
手当計	6,300,000		6,300,000	6,835,338	△ 535,338		
健康診断費	100,000		100,000	34,124	65,876		
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマ共済会	
退職給付引当金繰入額	550,000		550,000	447,588	102,412		
その他	205,000		205,000	670,322	△ 465,322	共済掛金	
事務費	1,057,000		157,000	2,094,702	△ 1,037,702		
旅費	50,000		50,000	50,548	△ 548		
消耗品費	80,000		80,000	111,823	△ 31,823		
会議旅費	7,000		7,000	43,046	△ 36,046		
印刷製本費	100,000		100,000	127,417	△ 27,417		
通信費	120,000		120,000	237,850	△ 117,850		
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0		
横浜市への支払分	0		0	0	0		
その他	0		0	0	0		
物品購入費	100,000		100,000	99,360	640		
図書購入費	0		0	0	0		
施設賠償責任保険	60,000		60,000	64,493	△ 4,493		
職員等研修費	40,000		40,000	0	40,000		
振込手数料	100,000		100,000	125,175	△ 25,175		
リース料	400,000		400,000	11,749	388,251		
手数料	0		0	22,000	△ 22,000		
地域協力費	0		0	0	0		
その他	0		0	1,201,241	△ 1,201,241		
事業費	1,224,000	0	1,224,000	1,254,261	△ 30,261		
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	予算・指定額	
指定管理料充当自主事業(包括)	134,000		134,000	288,675	△ 154,675	予算・指定額	
指定管理料充当事業(介護予防)	151,000		151,000	151,251	△ 251	予算・指定額	
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	310,335	△ 1,335	予算・指定額	
管理費	1,612,000		15,000	1,408,043	30,380	予算・指定額	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算・指定額	
光熱水費	1,029,000	0	0	855,423	0		
電気料金				0	0	この列は入力しない	
ガス料金				0	0		
水道料金				0	0		
清掃費	200,000		200,000	185,798	14,202		
修繕費	126,000		126,000	126,000	0	予算・指定額	
機械整備費	40,000		40,000	32,920	7,080		
設備保全費	187,000	0	187,000	152,976	34,024		
空調衛生設備保守	90,000		90,000	80,728	9,272		
消防設備保守	10,000		10,000	10,363	△ 363		
電気設備保守	10,000		10,000	6,905	3,095		
害虫駆除清掃保守	7,000		7,000	6,126	874		
駐車場設備保全費	30,000		30,000	12,697	17,303		
その他保全費	40,000		40,000	36,157	3,843	昇降機、自動ドア、設備総合監視点検	
共益費	0		0	0	0		
その他	30,000		30,000	54,926	△ 24,926	施設管理、ルート回収委託費	
公租公課	0	0	0	0	0		
事業所税				0	0		
消費税	0			0	0		
印紙税				0	0		
その他()				0	0	この列は入力しない	
事務経費(計算機等を説明欄に記)	0	0	0	0	0		
本部分				0	0		
当該施設分				0	0		
二一ズ対応費				0	0		
支出合計	34,803,000	0	33,474,000	33,095,852	1,233,571		
差引	0	△ 1,415,425	△ 388,425	249,723	△ 1,491,571		
自主事業費収入	594,000			258,000		予算・指定管理料に含む	
自主事業費支出	594,000			750,261			
自主事業収支	0			△ 492,261		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費	
管理許可・目的外使用許可収入	0			0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人	
管理許可・目的外使用許可支出	0			12,697		使用料(横浜市への支払分)・駐車場設備保全費	
管理許可・目的外使用許可収支	0			△ 12,697			

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

平成29年4月1日～平成30年3月31日
(単位:千円)

施設名: 横浜市能見台地域ケアプラザ

科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護 第1号通所介護	説明
介護保険収入	6467	26938	67370	8671	
その他	9483	1436	11590	7424	
介護予防ケアマネジメント費	9494	843	0	0	
事業・負担金収入	0	0	0	0	
利用者負担金収入	0	0	8786	7424	
雑収入他	0	0	1804	0	
委託収入	0	593	0	0	
その他	0	0	1000	0	
収入合計(A)	15950	28374	78960	16095	
人件費	1289	21158	71911	9256	
事務費	120	990	3289	423	
事業費	0	889	12004	1545	
管理費	0	1117	6145	791	
その他	10495	174	4696	0	
利用者負担軽減額	0	0	0	0	
消費税	0	174	706	0	
介護予防プラン委託料	10495	0	0	0	
施設利用料相当額	0	0	3990	0	
その他	0	0	0	0	
支出合計(B)	11904	24328	98045	12015	
収支(A)-(B)	4046	4046	-19085	4080	

列追加の場合はこの部分に追加

列追加の場合はこの部分に追加

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。
※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。

平成29年度 自主事業収支報告書

横浜市能見台地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
気ままサロン「あおぞら」	高齢者	¥42,749	地活	¥3,050	¥18,325	¥0	¥0	¥21,375	¥0
	464人		包括	¥3,049	¥18,325	¥0	¥0	¥21,374	¥0
	100円/茶・菓子		生活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
にぎやか亭	高齢者	¥77,500	地活	¥11,075	¥27,675	¥0	¥0	¥38,750	¥0
	137人		包括	¥11,075	¥27,675	¥0	¥0	¥38,750	¥0
	500円		生活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
男の料理教室	高齢者	¥56,493	地活	¥24,493	¥32,000	¥0	¥30,000	¥26,493	¥0
	37人		包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	食材費実費		生活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
パソコンクラブ	高齢者	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	164人		包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	0		生活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
健康サポート教室	高齢者	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	418人		包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	金沢スポーツセンターが徴収		生活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
雀の学校	高齢者	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	512人		包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	0		生活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
音読サロン	高齢者	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	74人		包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	0		生活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
うきうきクラブ	高齢者	¥215,500	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	671人		包括	¥3,500	¥212,000	¥0	¥196,000	¥19,500	¥0
	1000円		生活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
介護者の集い	高齢者	¥2,222	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	156人		包括	¥2,222	¥0	¥0	¥0	¥2,222	¥0
	0		生活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
講演会「高齢期に知っておきたい法律知識」	高齢者	¥10,000	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	30人		包括	¥10,000	¥0	¥0	¥10,000	¥0	¥0
	0		生活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
ロコモ予防体操	高齢者	¥840	地活	¥840	¥0	¥0	¥0	¥0	¥840
	30人		包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	0		生活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
		¥405,304		¥69,304	¥336,000	¥0	¥236,000	¥168,464	¥840

平成29年度 自主事業収支報告書

横浜市能見台地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額							
		総経費	収入			支出			
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
にこにこ広場	乳幼児	¥11,739	地活	¥7,239	¥4,500	¥0	¥0	¥4,914	¥6,825
	250人		包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	100円		生活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
のびのび広場	乳幼児	¥14,496	地活	¥5,396	¥9,100	¥0	¥0	¥6,551	¥7,945
	144人		包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	100円		生活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
おもちゃ病院	子育て中の親子	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	55人		包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	0		生活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
親子モバイル 切り絵教室	小学生と保護者	¥560	地活	¥560	¥0	¥0	¥0	¥0	¥560
	29人		包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	団体が徴収		生活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
親子科学工作教室	小学生と保護者	¥560	地活	¥560	¥0	¥0	¥0	¥0	¥560
	31人		包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	団体が徴収		生活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
離乳食講座	子育て中の親子	¥1,120	地活	¥1,120	¥0	¥0	¥0	¥0	¥1,120
	20人		包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	地域が徴収		生活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
ファーストブックの選 び方	子育て中の親子	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	53人		包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	0		生活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
リトミック遊び	子育て中の親子	¥840	地活	¥840	¥0	¥0	¥0	¥0	¥840
	47人		包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	0		生活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
食育講座	子育て中の親子	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	21人		包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	0		生活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
フリーティード	障害のある中・高校生	¥30,509	地活	¥15,559	¥14,950	¥0	¥0	¥25,049	¥5,460
	137人		包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	2000円/年		生活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
区内ケアプラザ 合同サマーフレンド	障害のある小・中学生	¥2,819	地活	¥2,819	¥0	¥0	¥0	¥2,819	¥0
	75人		包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	1000円		生活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
ハッピーポップ	障害のある18歳以上の方	¥33,372	地活	¥1,272	¥32,100	¥0	¥0	¥27,352	¥6,020
	168人		包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	3000円/年		生活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
スマイルカフェ	障害児の養育者	¥48,530	地活	¥4,530	¥44,000	¥0	¥0	¥47,970	¥560
	239人		包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	300円 (パンとコーヒー代)		生活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
		¥144,545		¥39,895	¥104,650	¥0	¥0	¥114,655	¥29,890

平成29年度 自主事業収支報告書

横浜市能見台地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
食品衛生講習会	地域・ボランティア	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	32人		包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	0		生活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
安全運転講習会	地域・ボランティア	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	22人		包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	0		生活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
金沢区大学生対象ボランティア活動入門講座	大学生	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	54人		包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	0		生活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
合同祭	地域	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	3600人		包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	0		生活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
医療講座	地域	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	46人		包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	0		生活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
手打ちそば教室	地域	¥18,060	地活	¥560	¥17,500	¥0	¥5,000	¥12,500	¥560
	22人		包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	1000円		生活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
合同防災訓練	地域	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	171人		包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	0		生活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
囲碁サロン	地域	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	157人		包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	0		生活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
よつば会	手芸ボランティア	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	123人		包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	0		生活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
ボランティア連絡会	貸し館利用のボランティア団体	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	27人		包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	0		生活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
支えあい連絡会	エリアの福祉関係者	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	60人		包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	0		生活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
子育て支援連絡会	エリアの福祉関係者	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	37人		包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	0		生活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
学校と施設の連絡会	エリアの施設・学校	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	31人		包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	0		生活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
		¥18,060		¥560	¥17,500	¥0	¥5,000	¥12,500	¥560

横浜市能見台地域ケアプラザ

高齢者支援事業

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
気ままサロン「あおぞら」	高齢者の居場所づくりを目的とした、音楽サロン。 音楽の演奏は、ケアプラザを利用している自主団体を始めとした有志のグループ・団体。	毎月第2土 全11回
にぎやか亭	高齢者を対象とした会食会。料理は、「男の料理教室」に参加している、男性ボランティアが担当。 協力：能見台地区連合町内会、富岡西能見台地区民生委員児童委員協議会、のど越しの会	6月・11月 第3土 全2回
男の料理教室	男性の地域活動（ボランティア活動）へのきっかけ。 会食会での料理提供、献立・調理の実習等。	5,7,9,10,12,2月 第3土 全6回
パソコンクラブ	参加者同士による相互学習。生きがい・居場所づくり。 パソコンやタブレットなどを持ちより、それぞれ好きな事を行いながら時間を過ごす。	毎月第2・第4木 全24回
健康サポート教室	金沢スポーツセンターと共催。 金沢スポーツセンターからの講師による、転倒骨折予防体操を実施。	毎月第2・4月 祝祭日休 全21回
雀の学校	認知症予防を目的とした健康麻雀。 地域の方同士、顔見知りの関係へのきっかけ。	毎月第2・第4水 全24回
音読サロン	独居の方を主な対象として、健康維持・介護予防を目的にそれぞれ持ち寄った作品を音読（声に出して読む）する。	毎月第1火 祝祭日休 全11回
うきうきクラブ	運動量に合わせて、自分にあった体操を選んで、無理なく運動することが出来る、介護予防体操を行う。	毎月第2・第3・第4月 祝祭日休 全31回
介護者の集い	介護者を対象とした情報交換、ピア・カウンセリングの場。必要に応じ専門家を招き、介護者が必要な情報を提供。	毎月 第4木 全10回
講演会「高齢期に知っておきたい法律知識」	高齢者虐待について、虐待予防普及・啓発の一貫として高齢期に係わる身近な法律知識を身につけることで、日常生活や介護がより質の高いものにつながるよう講演会を行う。	毎月 第4木 全10回
ロコモ予防体操	高齢者の介護予防、健康増進、ロコモティブシンドロームを予防する体操指導	1回 2月21日

横浜市能見台地域ケアプラザ

子育て支援事業

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
にこにこ 広場	子育て中の親子の広場。(妊婦、0歳～未就園児) 情報交換・ストレス軽減、交流の場づくり。 ボランティアのにこにこ会による、手遊びや工作などを実施。	毎月第3金 全12回
のびのび 広場	子育て中の親子広場(1.5歳～未就園児) 情報交換・ストレス軽減、交流の場づくり。 ボランティアのにこにこ会による、手遊びや工作などを実施。	毎月第1金 祝祭日休 全10回
おもちゃ 病院	地域のボランティアの協力を得て、子どものおもちゃの修理を受け付けることで、モノを大切にすることを身につけるための場。	毎月第3金 全12回
親子モ ビール 切り絵教	親子のふれあい支援、ボランティアとの多世代交流の場。 地域活動交流事業のモバイル講座から、自主活動化した団体の協力を得て、親子で切り絵作成を行う。	1回 8月3日
親子科学 工作教室	小学生の親子のふれあい支援、養育者同士の交流、ボランティア団体との多世代交流の場。ケアプラザ登録団体、おもしろ科学金沢の協力によりおもちゃの制作教室を実施。	1回 8月9日
離乳食講 座	近隣の地域(地区民児協等)と共催し、離乳食幼児食講座を実施。 子育て世代をターゲットに、地域活動とケアプラザの活動を紹介	1回 12月3日
ファース トブック の選び方	最近の子育て世代で話題に上がる情報提供と、身近な相談窓口であるケアプラザの紹介を行った後、金沢図書館の司書による初めての絵本遊びのお話と手遊びや読み聞かせから絵本の楽しさを伝	1回 12月19日
リトミック 遊び	音楽遊びを通して親子でふれあい楽しく過ごす。子育て世代の交流。	1回 3月29日
食育講座	子育て支援活動団体との共催にて、忙しい子育て世代に向け簡単にバランスのとれた食事の作り方を紹介。	1回 11月3日

障害児者支援事業

事業名	目的・内容	実施時期・回数
フリー ティード	中・高校生の障害児者の、余暇活動と友達づくりの場。地域ボランティアとの多世代交流の場。ボランティアの協力を得て、お菓子づくり、体操などの交流をする。	毎月原則第4土 全11回
区内ケアプラザ 合同 サマーフレンド	区内9ケアプラザ合同にて実施する、障害児余暇支援・居場所づくり事業。ボランティアの協力を得て、体操やレクリエーションをする。	2回 7月28日、8月11日
ハッピー ポップ	フリーティードを卒業した年代を対象とした、障害者余暇支援・居場所づくり事業。ボランティアの協力を得て、お菓子づくりなどの交流をする。	毎月原則第3土 全12回
スマイル カフェ	障がいがある子どもの養育者の、くつろぎの場。同じ立場の子育てが落ち着いた世代のボランティアによる情報の交換と交流。本格ドリップ珈琲の提供。	毎月第4火 全11回

横浜市能見台地域ケアプラザ

一般・ボランティア支援・連絡会等

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
食品衛生講習会	配食サービスに関わるボランティア、送迎ボランティア、地域の方を対象にした食品衛生講習会。金沢区生活衛生課協力。	1回 6月29日
安全運転講習会	配食サービスや送迎ボランティアなど、車の運転に関わる方や、地域の方を対象にした安全運転講習会。金沢警察交通課協力。	1回 8月8日
金沢区大学生対象ボランティア活動入門講座	区内9ケアプラザ、区社協、区、横浜市立大学共催のボランティア育成講座。	1回 4月27日
合同祭	能見台地区センターとの共催事業。ケアプラザの周知・理解と、利用される方々の交流のきっかけ。	1回 10月14日
医療講座	エリア内の循環器呼吸器病センターの協力を得て、地域の皆さんの参考になる講座を実施。	1回 3月9日
手打ちそば教室	そば打ちを通じた参加者同士の関係づくりと多世代交流。ケアプラザと係わりの少ない世代へのケアプラザ周知。	1回 12月23日
合同防災訓練	防災訓練を兼ねて実施。講師を招いて開催する講話とAED演習や煙体験。地区センターと共催。区、消防署協力。	2回 10月4日、2月14日
囲碁サロン	囲碁をきっかけとした、参加者同士の繋がりづくり。	毎月第1・第3土 全24回
よつば会	手芸が得意な方が集まって、布作品を作ることで地域に貢献する。得意を生かしたボランティア活動の場。	毎月第2・第4水 全20回

各種連絡会

ボランティア連絡会	貸し館登録団体のボランティアを対象とした連絡会。ケアプラザの目的、お知らせの周知等と、グループ・団体同士の繋がりを支援。	1回 2月1日
支えあい連絡会	地域の方々の、支え合いの関係づくりに向けた連絡会。情報交換、啓発のための講座実施。	3回 6月20日、10月3日、 2月9日
子育て支援連絡会	能見台地域ケアプラザエリアの子育て広場等の関係者や主任児童委員、ケアプラザの子育て広場のボランティア等との情報・意見交換会。地域の子育て中の親子の情報共有・支援。	3回 7月18日、11月30日 3月13日
学校と施設の連絡会	ケアプラザと、近隣の福祉施設・学校との連絡会。社会実習や福祉教育を円滑に進めるために顔の見える関係づくりや情報共有を行う。（富岡地域ケアプラザと共催）	1回 6月8日